

西多摩初！ 議会モニターの 皆さま

町議会では、議会改革や活性化を推進し開かれた議会を目指すために、議会モニターを募集しました。モニターの皆さまには議会や委員会などを傍聴していただき、意見や感想、アドバイスなどを議会に届けていただきます。それらを基に、会議の方法や周知の方法など多方面から議会を改善していきます。今回のモニターの皆さまは、退職された方、現役のサラリーマン、子育て中の方、町で事業をされている方など年齢も職種も幅広い7名のメンバーで構成されました。今回は6名のモニターの方がインタビューに答えてくれました。



議員に「もっと突っ込め！」「ついでの中で叫んだ時もありました(笑)」

Q 普段は何をされていますか？

— 会社役員として、店舗経営やネットショップなど幅広く活動しています。
— 趣味で書道と色鉛筆画をやっていて、総合文化祭やコミセンまつりなどに作品を提供しています。
— 自宅兼会社なので、自宅で経営や経理の仕事をしています。
— 退職後、若年層の就職支援に力を尽くしたいと考えて、3年前にキャリアコンサルタントの資格を取得し、活動しています。
— 友人と瑞穂町を元気にする会をつくりました。

イベントを企画したり参加して活動しています。

— 普段はサラリーマン。ライター資格を生かして地域で活躍している方々をSNSなどで紹介しています。

Q どうして議会モニターに参加しようと思ったのですか？

— 瑞穂町に居住して30年。この町で子育てし愛着があります。これまでの企業で培ってきた経験をまちづくりを生かせないかと思い応募しました。

— コロナ禍をきっかけに国や町の在り方を考えるようになりました。そこで、まず、行政を知ろう。そのために参加することから始めようと思いました。
— この町で生まれ育っているのに、町のことをほとんど知らない。でも、特に不自由なく過ごしているといった日々でした。年を重ね、少しずつ政治への関心が高まっていく中で、4月に行われた町議会選挙の時に十分な情報がない中で誰に投票すればいいのか判断ができませんと感じました。そこで、町の議会に関心が湧いてきました。

Q 議会モニターとして参加される前の議会のイメージってどんなでしたか？

— 本会議は映像で見ていたのでなんとなく雰囲気はつかんでいましたが、委員会は何をしているか全く分からないといった感じですね。
— お堅い人たちがお堅い言葉を使って話合っているといったイメージですかね。
— 町側と議会側でもっと熱く紛糾するのかな？(笑)

Q 瑞穂町が「こんな町になってほしい」という希望がありますか？

— 町に魅力があって、それを理由に進んで町に住む。そんな魅力的な町。
— 子どもたちが国や町や地域を誇りに思い大切にしたいと感じる町。
— コミュニティが活発で、誰もが楽しめる町。
— 町民が地域に貢献して、行政が町民の期待に応える町。

Q 実際に本会議や委員会などを見ていただいた感想は？

— 議案の審査では、一つの問題について、複数の議員がいろんな角度から追及しているのが良かったと思います。少し安心しました。
— 一般質問では、議員に「もっと突っ込め！」「ついでの中で叫んだ時もありました(笑)」
— 委員会での陳情審査では、私も議員に交じって議論に参加したくなりました(笑)。
— 学校ではあまり地域の政治を学ぶ機会がなかったの、「こんな風にして身近な政治が決まっていくなだなあ」と思いました。

Q 読者の皆さんにメッセージをお願いします。

— 議会は町の進む方向を最終決定するところです。その決定に側面から参加できるなんてチャンスです。皆さんも傍聴したり、議会や議員に意見を届けるなど、自分なりのやり方でぜひ、まちづくりに参加してください。
— 積極的に傍聴しましょう。町や議員の考え方が分かります。
— 議員の皆さんも議会事務局の皆さんもフレンドリーです。安心して傍聴にきてください。

Q 他に何か気付いたことはありますか？

— 若い議員が少ないかなあ。
— いい意味でも悪い意味でも議会と行政って仲がいい感じ。
— 会議中って飲み物もってはいけないんですね。

「ご協力ありがとうございました。議会へのご意見やご感想などは議員全体で共有し、改善に向けて話合っていきます。」

